

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	平成20年8月28日から平成30年8月15日まで
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	ベビーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合があります。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
組入制限	ベビーファンド マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限りです。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
分配方針	<毎月分配型>原則として、毎決算時(毎月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から配当等収益等を中心に安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。(ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。)<年2回決算型>原則として、毎決算時(2月15日および8月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、委託者の判断により分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## 運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インバーストメント・マネジメント株式会社  
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目 9 番 7 号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.co.jp/im/

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# Morgan Stanley

## モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信

(毎月分配型)

(年2回決算型)

### 運用報告書(全体版)

(毎月分配型)

第102期(決算日 2017年3月15日)

第103期(決算日 2017年4月17日)

第104期(決算日 2017年5月15日)

第105期(決算日 2017年6月15日)

第106期(決算日 2017年7月18日)

第107期(決算日 2017年8月15日)

(年2回決算型)

第18期(決算日 2017年8月15日)

### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」は、第102期～第107期までの決算、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」は、第18期の決算を行いましたので当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)	標準額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		円	円	騰落率			
第14作成期	円	円	%	%	%	百万円	
	78期 (2015年3月16日)	6,982	30	△3.6	94.7	—	7,928
	79期 (2015年4月15日)	7,041	30	1.3	95.4	—	7,866
	80期 (2015年5月15日)	7,235	30	3.2	95.8	—	7,992
	81期 (2015年6月15日)	7,167	30	△0.5	95.5	—	7,773
	82期 (2015年7月15日)	7,040	30	△1.4	94.7	—	7,530
第15作成期	83期 (2015年8月17日)	6,811	30	△2.8	94.6	—	7,139
	84期 (2015年9月15日)	6,404	30	△5.5	90.0	—	6,475
	85期 (2015年10月15日)	6,459	30	1.3	95.4	—	6,484
	86期 (2015年11月16日)	6,428	30	△0.0	95.6	—	6,381
	87期 (2015年12月15日)	6,270	30	△2.0	95.0	—	6,112
	88期 (2016年1月15日)	5,965	30	△4.4	94.9	—	5,763
第16作成期	89期 (2016年2月15日)	5,802	30	△2.2	95.2	—	5,571
	90期 (2016年3月15日)	5,999	30	3.9	95.3	—	5,695
	91期 (2016年4月15日)	5,894	30	△1.3	95.5	—	5,548
	92期 (2016年5月16日)	5,702	30	△2.7	94.3	—	5,428
	93期 (2016年6月15日)	5,546	30	△2.2	93.5	—	5,346
	94期 (2016年7月15日)	5,639	30	2.2	95.3	—	5,424
第17作成期	95期 (2016年8月15日)	5,480	30	△2.3	95.5	—	5,234
	96期 (2016年9月15日)	5,405	30	△0.8	93.1	—	5,102
	97期 (2016年10月17日)	5,482	30	2.0	96.3	—	4,982
	98期 (2016年11月15日)	5,456	30	0.1	96.8	—	4,928
	99期 (2016年12月15日)	5,897	30	8.6	96.1	—	5,266
	100期 (2017年1月16日)	5,745	30	△2.1	96.6	—	5,045
第18作成期	101期 (2017年2月15日)	5,866	30	2.6	97.1	—	5,089
	102期 (2017年3月15日)	5,819	30	△0.3	96.9	—	5,022
	103期 (2017年4月17日)	5,555	30	△4.0	96.0	—	4,749
	104期 (2017年5月15日)	5,797	30	4.9	96.7	—	4,863
	105期 (2017年6月15日)	5,719	30	△0.8	88.5	—	4,799
	106期 (2017年7月18日)	5,904	30	3.8	97.2	—	4,874
	107期 (2017年8月15日)	5,776	30	△1.7	97.0	—	4,708

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第102期	(期 首) 2017年2月15日	円 5,866	% —	% 97.1	% —
	2月末	5,801	△1.1	97.6	—
	(期 末) 2017年3月15日	5,849	△0.3	96.9	—
第103期	(期 首) 2017年3月15日	5,819	—	96.9	—
	3月末	5,762	△1.0	97.0	—
	(期 末) 2017年4月17日	5,585	△4.0	96.0	—
第104期	(期 首) 2017年4月17日	5,555	—	96.0	—
	4月末	5,692	2.5	96.3	—
	(期 末) 2017年5月15日	5,827	4.9	96.7	—
第105期	(期 首) 2017年5月15日	5,797	—	96.7	—
	5月末	5,717	△1.4	96.1	—
	(期 末) 2017年6月15日	5,749	△0.8	88.5	—
第106期	(期 首) 2017年6月15日	5,719	—	88.5	—
	6月末	5,828	1.9	97.3	—
	(期 末) 2017年7月18日	5,934	3.8	97.2	—
第107期	(期 首) 2017年7月18日	5,904	—	97.2	—
	7月末	5,856	△0.8	97.0	—
	(期 末) 2017年8月15日	5,806	△1.7	97.0	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
14期（2015年8月17日）	10,309	50	△3.8	95.3	—	1,817
15期（2016年2月15日）	9,036	0	△12.3	95.3	—	1,521
16期（2016年8月15日）	8,785	0	△2.8	95.6	—	1,453
17期（2017年2月15日）	9,712	0	10.6	97.3	—	1,502
18期（2017年8月15日）	9,865	0	1.6	97.0	—	1,367

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2017年2月15日	9,712	—	97.3	—
2月末	9,604	△1.1	97.7	—
3月末	9,587	△1.3	97.5	—
4月末	9,519	△2.0	96.6	—
5月末	9,611	△1.0	96.6	—
6月末	9,851	1.4	97.8	—
7月末	9,952	2.5	97.6	—
(期 末)				
2017年8月15日	9,865	1.6	97.0	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

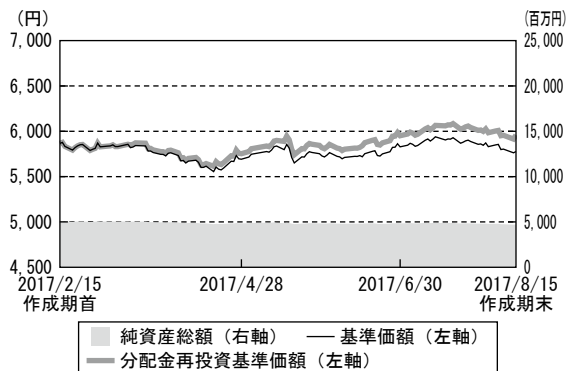
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■運用経過 (2017年2月16日から2017年8月15日まで)

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)

基準価額等の推移



第102期首 : 5,866円  
 第107期末 : 5,776円 (既払分配金180円)  
 騰落率 : 1.6% (分配金再投資ベース)

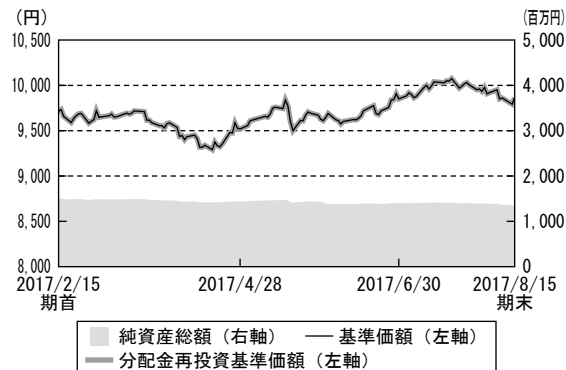
- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したことに加えて、安定したインカム・ゲインを獲得出来たことで、基準価額は上昇し、作成期首に5,866円でスタートした基準価額は作成期末には5,806円(第107期分配金30円込み)となりました。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)

基準価額等の推移



第18期首 : 9,712円  
 第18期末 : 9,865円 (既払分配金0円)  
 騰落率 : 1.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

基準価額の主な変動要因

当期は、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したことに加えて、安定したインカム・ゲインを獲得出来たことで、基準価額は上昇し、期首に9,712円でスタートした基準価額は期末には9,865円となりました。

## 投資環境

米国において、議会での法案審議の遅れやトランプ政権内での人事を巡る混乱拡大等を背景に、経済・財政政策への期待が剥落したことが米ドル安要因となったため、円高米ドル安となりました。また、政治情勢が懸念された一部の高金利通貨が下落したものの、債券市場が全般的に落ち着いた推移となる中、相対的に高いキャリーを求める投資家からの資金が流入したため、高金利通貨市場については概ね安定的に推移しました。

## ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

### (1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

#### 《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・リアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

#### 《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・リアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

### (2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

## 分配金

### （毎月分配型）

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第102期～第107期各30円（作成期中合計180円）とさせていただきます。第107期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	(2017年2月16日～ 2017年3月15日)	(2017年3月16日～ 2017年4月17日)	(2017年4月18日～ 2017年5月15日)	(2017年5月16日～ 2017年6月15日)	(2017年6月16日～ 2017年7月18日)	(2017年7月19日～ 2017年8月15日)
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.513%	0.537%	0.515%	0.522%	0.506%	0.517%
当期の収益	21	24	25	23	28	21
当期の収益以外	8	5	4	6	1	8
翌期繰越分配対象額	217	212	208	201	200	191

### （年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2017年2月16日～2017年8月15日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,843

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

### (1) 市場環境について

米国経済は緩やかな景気の拡大が続くと期待され、世界的にも景気が安定化していると考えています。金融政策に関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されるものの、インフレへの懸念が低いことから、世界的に緩やかな金融政策の継続が見込まれます。日本や欧州の債券市場を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、中長期的には相対的に高い経済成長が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。また、一部の国においては構造改革の進展や、経常収支などのファンダメンタルズの改善が確認出来ることもポジティブな要因として考えられます。

### (2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心に安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



■ 1万口当たりの費用明細

項目	第102期～第107期		項目の概要
	(2017年2月16日～2017年8月15日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	29円 (14) (14)  (2)	0.509% (0.241) (0.241)  (0.027)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	5 (3)  (1) (1)	0.091 (0.046)  (0.013) (0.032)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	34	0.600	

当作成期中の平均基準価額は、5,776円です。

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2017年2月16日から2017年8月15日まで）

決算期	第102期～第107期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	39,285	41,521	262,820	281,168
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	39,167	41,521	261,026	281,168

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2017年2月16日から2017年8月15日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細  
親投資信託残高

（2017年8月15日現在）

種 類	第 17 作 成 期 末		第 18 作 成 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	2,318,791		2,095,255	2,298,495
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	2,415,267		2,193,408	2,399,588

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨て。

（注2）当作成期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,734,435千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,800,367千口です。

■投資信託財産の構成

（2017年8月15日現在）

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	2,298,495	48.3
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	2,399,588	50.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	62,222	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	4,760,305	100.0

（注1）モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（2,931,299千円）の投資信託財産総額（3,034,222千円）に対する比率は96.6%です。

（注2）モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（3,061,481千円）の投資信託財産総額（3,098,004千円）に対する比率は98.8%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円、1メキシコペソ=6.20円、1ブラジルリアル=34.54円、1ノルウェークローネ=13.86円、1トルコリラ=31.26円、1ポーランドズロチ=30.29円、1オーストラリアドル=86.64円、1ニュージーランドドル=80.46円、100インドネシアルピア=0.83円、1南アフリカランド=8.29円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年3月15日)、(2017年4月17日)、(2017年5月15日)、(2017年6月15日)、(2017年7月18日)、(2017年8月15日)現在

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
(A) 資 産	5,054,905,580円	4,812,581,325円	4,951,459,009円	4,834,630,129円	4,909,338,255円	4,760,305,620円
コール・ローン等	13,122,413	13,156,313	13,355,419	13,683,014	13,835,686	13,914,384
モルガン・スタンレー 先進国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	2,454,610,001	2,319,222,115	2,347,891,257	2,320,188,863	2,361,693,399	2,298,495,823
モルガン・スタンレー 新興国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	2,554,947,354	2,449,370,897	2,503,661,573	2,468,568,258	2,498,466,514	2,399,588,543
未 収 入 金	32,225,812	30,832,000	86,550,760	32,189,994	35,342,656	48,306,870
(B) 負 債	32,190,918	62,869,938	87,953,023	35,454,862	35,263,057	51,340,704
未払収益分配金	25,895,366	25,649,179	25,167,684	25,174,860	24,767,081	24,459,459
未払解約金	1,975,812	32,237,950	58,630,659	5,708,631	5,606,654	22,762,264
未払信託報酬	3,971,351	4,580,879	3,819,601	4,202,690	4,495,000	3,786,780
未 払 利 息	34	32	34	33	33	33
その他未払費用	348,355	401,898	335,045	368,648	394,289	332,168
(C) 純資産総額(A-B)	5,022,714,662	4,749,711,387	4,863,505,986	4,799,175,267	4,874,075,198	4,708,964,916
元 本	8,631,788,789	8,549,726,397	8,389,228,298	8,391,620,025	8,255,693,770	8,153,153,125
次期繰越損益金	△3,609,074,127	△3,800,015,010	△3,525,722,312	△3,592,444,758	△3,381,618,572	△3,444,188,209
(D) 受 益 権 総 口 数	8,631,788,789口	8,549,726,397口	8,389,228,298口	8,391,620,025口	8,255,693,770口	8,153,153,125口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,819円	5,555円	5,797円	5,719円	5,904円	5,776円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 作成期首元本額 8,677,510,727円  
 作成期中追加設定元本額 144,543,585円  
 作成期中一部解約元本額 668,901,187円
- 元本の欠損  
 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,444,188,209円(第107期末)であります。

■ 損益の状況

第102期 (自2017年2月16日 至2017年3月15日)、第105期 (自2017年5月16日 至2017年6月15日)  
 第103期 (自2017年3月16日 至2017年4月17日)、第106期 (自2017年6月16日 至2017年7月18日)  
 第104期 (自2017年4月18日 至2017年5月15日)、第107期 (自2017年7月19日 至2017年8月15日)

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(A) 配 当 等 収 益	△935円	△989円	△934円	△1,080円	△1,130円	△936円
支 払 利 息	△935	△989	△934	△1,080	△1,130	△936
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,027,933	△194,679,426	232,105,332	△36,071,547	182,215,284	△76,076,559
売 買 益	14,183,963	1,321,831	235,639,236	211,787	183,465,924	597,948
売 買 損	△24,211,896	△196,001,257	△3,533,904	△36,283,334	△1,250,640	△76,674,507
(C) 信 託 報 酬 等	△4,319,706	△4,982,816	△4,154,646	△4,571,338	△4,889,289	△4,118,948
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△14,348,574	△199,663,231	227,949,752	△40,643,965	177,324,865	△80,196,443
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,898,268,128	△2,907,954,074	△3,059,852,156	△2,842,023,248	△2,858,941,961	△2,671,136,450
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△670,562,059	△666,748,526	△668,652,224	△684,602,685	△675,234,395	△668,395,857
(配 当 等 相 当 額)	(27,801,072)	(27,731,545)	(27,934,397)	(28,794,796)	(28,479,321)	(28,210,733)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△698,363,131)	(△694,480,071)	(△696,586,621)	(△713,397,481)	(△703,713,716)	(△696,606,590)
(G) 計 (D+E+F)	△3,583,178,761	△3,774,365,831	△3,500,554,628	△3,567,269,898	△3,356,851,491	△3,419,728,750
(H) 収 益 分 配 金	△25,895,366	△25,649,179	△25,167,684	△25,174,860	△24,767,081	△24,459,459
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△3,609,074,127	△3,800,015,010	△3,525,722,312	△3,592,444,758	△3,381,618,572	△3,444,188,209
追 加 信 託 差 損 益 金	△670,562,059	△666,748,526	△668,652,224	△684,602,685	△675,234,395	△668,395,857
(配 当 等 相 当 額)	(27,801,250)	(27,742,796)	(27,949,752)	(28,863,750)	(28,486,084)	(28,216,610)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△698,419,309)	(△694,491,322)	(△696,626,973)	(△713,466,452)	(△703,720,479)	(△696,612,467)
分 配 準 備 積 立 金	160,306,124	153,826,865	146,577,127	140,374,568	137,159,289	128,261,160
繰 越 損 益 金	△3,098,818,192	△3,287,093,349	△3,003,647,215	△3,048,216,641	△2,843,543,466	△2,904,053,512

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(損益および剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

第102期計算期間末における費用控除後の配当等収益(18,523,227円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(27,857,250円)および分配準備積立金(167,678,263円)より分配対象収益は214,058,740円(10,000口当たり247円)であり、うち25,895,366円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,762,022円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(27,742,796円)および分配準備積立金(158,714,022円)より分配対象収益は207,218,840円(10,000口当たり242円)であり、うち25,649,179円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(21,429,890円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(27,974,749円)および分配準備積立金(150,314,921円)より分配対象収益は199,719,560円(10,000口当たり238円)であり、うち25,167,684円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(19,707,705円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(28,863,767円)および分配準備積立金(145,841,723円)より分配対象収益は194,413,195円(10,000口当たり231円)であり、うち25,174,860円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,832,011円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(28,486,084円)および分配準備積立金(138,094,359円)より分配対象収益は190,412,454円(10,000口当たり230円)であり、うち24,767,081円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,259,591円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(28,216,610円)および分配準備積立金(135,461,028円)より分配対象収益は180,937,229円(10,000口当たり221円)であり、うち24,459,459円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

■ 分配金

1 万口当たり分配金 (税込み)	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

「モルガン・スタンレー世界高金利通貨投信（毎月分配型）／（年2回決算型）」につきまして、信託期間を5年間延長し、新しい信託期間終了日を平成35年8月15日に変更する予定です。（平成29年11月11日付）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年2月16日～2017年8月15日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	49円 (23) (23)  (3)	0.509% (0.241) (0.241)  (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	9 (4)  (4) (1)	0.096 (0.046)  (0.040) (0.010)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	58	0.605	

当期中の平均基準価額は、9,687円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2017年2月16日から2017年8月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	123	130	76,793	82,464
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	123	130	76,434	82,464

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況（2017年2月16日から2017年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細  
親投資信託残高

(2017年8月15日現在)

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	715,849	639,179	701,179
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	683,270	606,959	664,013

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,734,435千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は2,800,367千口です。

■投資信託財産の構成

(2017年8月15日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	701,179	50.5
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	664,013	47.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,522	1.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,387,714	100.0

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,931,299千円）の投資信託財産総額（3,034,222千円）に対する比率は96.6%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,061,481千円）の投資信託財産総額（3,098,004千円）に対する比率は98.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円、1メキシコペソ=6.20円、1ブラジルレアル=34.54円、1ノルウェークローネ=13.86円、1トルコリラ=31.26円、1ポーランドズロチ=30.29円、1オーストラリアドル=86.64円、1ニュージーランドドル=80.46円、100インドネシアルピア=0.83円、1南アフリカランド=8.29円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,387,714,857円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,778,045
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	701,179,776
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	664,013,326
未 収 入 金	20,743,710
(B) 負 債	20,641,566
未 払 解 約 金	12,643,710
未 払 信 託 報 酬	7,287,614
未 払 利 息	4
そ の 他 未 払 費 用	710,238
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,367,073,291
元 本	1,385,777,654
次 期 繰 越 損 益 金	△18,704,363
(D) 受 益 権 総 口 数	1,385,777,654口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,865円

■損益の状況

当期 (自2017年2月16日 至2017年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△689円
支 払 利 息	△689
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,936,279
売 買 益	31,262,818
売 買 損	△2,326,539
(C) 信 託 報 酬 等	△7,997,867
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	20,937,723
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△8,390,578
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△31,251,508
(配 当 等 相 当 額)	(29,655,340)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△60,906,848)
(G) 計 (D + E + F)	△18,704,363
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△18,704,363
追 加 信 託 差 損 益 金	△31,251,508
(配 当 等 相 当 額)	(29,656,001)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△60,907,509)
分 配 準 備 積 立 金	641,559,426
繰 越 損 益 金	△629,012,281

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額 1,547,394,249円  
期中追加設定元本額 273,674円  
期中一部解約元本額 161,890,269円
- 元本の欠損  
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は18,704,363円であります。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(30,589,646円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(29,656,001円)および分配準備積立金(610,969,780円)より分配対象収益は671,215,427円(10,000口当たり4,843円)であるが、基準価額水準、市況動向及び収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

■分配金

1 万 口 当 た り 分 配 金 ( 税 込 み )	0円
-----------------------------	----



■お知らせ

「モルガン・スタンレー世界高金利通貨投信（毎月分配型）／（年2回決算型）」につきまして、信託期間を5年間延長し、新しい信託期間終了日を平成35年8月15日に変更する予定です。（平成29年11月11日付）

**モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド ー第9期ー**  
**決算日 2017年8月15日／計算期間 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)**

当ファンドの仕組みは次の通りです。

<b>運用方針</b>	主として、世界先進主要国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
<b>主要運用対象</b>	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
<b>組入制限</b>	株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限りません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)

**基準価額の主な変動要因**

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得出来たことに加えて、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で堅調に推移したため、基準価額は上昇し、期首に9,748円でスタートした基準価額は期末には10,970円となりました。

**投資環境**

米国の経済指標の改善を受けて追加利上げ期待が高まったこと、さらに11月の大統領選挙後には、新政権が掲げる経済・財政政策によって景気拡大等が期待されたことから米ドル高が進行し、大幅な円安米ドル高となりました。その後は、米国議会での法案審議の遅れやトランプ政権内での人事を巡る混乱拡大等を背景に、経済・財政政策への期待が剥落したため円高米ドル安となりました。一方で、比較的良好な投資家センチメントが維持されたことや、相対的に高いキャリーを求める投資家からの資金が流入したため、高金利通貨市場は概ね安定的に推移しました。

**ポートフォリオ**

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては先進国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

- モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

- モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

(2) 投資債券について

国債を中心に組入れつつ、流動性が高く信用力も高いものの、国債よりも高い利回りを有していた国際機関債へ一部投資を行い、より高いインカム・ゲインの収益獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、先進国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米国経済は緩やかな景気の拡大が続くと期待され、世界的にも景気が安定化していると考えています。金融政策に関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されるものの、インフレへの懸念が低いことから、世界的に緩和的な金融政策の継続が見込まれます。日本や欧州の債券市場を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2016年 8月15日	円		%	%	%
	9,748	—		94.0	—
8月末	9,817	0.7		94.6	—
9月末	9,749	0.0		94.8	—
10月末	9,960	2.2		96.0	—
11月末	10,470	7.4		97.0	—
12月末	10,692	9.7		97.2	—
2017年 1月末	10,778	10.6		97.5	—
2月末	10,656	9.3		97.3	—
3月末	10,598	8.7		97.1	—
4月末	10,479	7.5		96.7	—
5月末	10,654	9.3		96.2	—
6月末	10,911	11.9		98.2	—
7月末	11,083	13.7		96.5	—
(期 末) 2017年 8月15日	10,970	12.5		96.1	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2016年8月16日～2017年8月15日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	10円 (10)	0.095% (0.094)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	10	0.095	

当期中の平均基準価額は、10,487円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況（2016年8月16日から2017年8月15日まで）

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 5,137	千米ドル 6,044
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ -	千ノルウェークローネ 6,466
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ -	千ポーランドズロチ 3,859
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 1,050	千オーストラリアドル 206
特殊債証券		-	1,707	
国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル -	千ニュージーランドドル 1,591

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2016年8月16日から2017年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2017年8月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千米ドル 5,200	千米ドル 5,160	千円 568,726	% 19.0	% —	% —	% 19.0	% —
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 39,000	千ノルウェークローネ 41,677	577,648	19.3	—	—	—	19.3
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 18,500	千ポーランドズロチ 18,638	564,567	18.8	—	—	—	18.8
オーストラリア	千オーストラリアドル 6,900	千オーストラリアドル 7,015	607,821	20.3	—	—	—	20.3
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 6,700	千ニュージーランドドル 7,021	564,988	18.8	—	—	—	18.8
合 計	—	—	2,883,752	96.1	—	—	19.0	77.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

銘 柄	当 期			末		償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ) US TREASURY	国債証券	% 1.125	千米ドル 5,200	千米ドル 5,160	千円 568,726	2020/4/30
小 計					568,726	
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	4.5	千ノルウェークローネ 39,000	千ノルウェークローネ 41,677	577,648	2019/5/22
小 計					577,648	
(ポーランド) POLAND	国債証券	5.25	千ポーランドズロチ 18,500	千ポーランドズロチ 18,638	564,567	2017/10/25
小 計					564,567	
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	5.5	千オーストラリアドル 6,900	千オーストラリアドル 7,015	607,821	2018/1/21
小 計					607,821	

## モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

銘柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ニュージーランド) NEW ZEALAND	国債証券	% 5.0	千ニュージーランドドル 6,700	千ニュージーランドドル 7,021	千円 564,988	2019/3/15
小 計					564,988	
合 計					2,883,752	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

(2017年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,883,752	% 95.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	150,470	5.0
投 資 信 託 財 産 総 額	3,034,222	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(2,931,299千円)の投資信託財産総額(3,034,222千円)に対する比率は96.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円、1ノルウェークローネ=13.86円、1ポーランドズロチ=30.29円、1オーストラリアドル=86.64円、1ニュージーランドドル=80.46円です。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,034,222,984円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	105,671,629
公 社 債(評価額)	2,883,752,168
未 収 利 息	44,518,870
前 払 費 用	280,317
(B) 負 債	34,525,539
未 払 解 約 金	34,525,290
未 払 利 息	249
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,999,697,445
元 本	2,734,435,369
次 期 繰 越 損 益 金	265,262,076
(D) 受 益 権 総 口 数	2,734,435,369口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,970円

■損益の状況

当期 (自2016年8月16日 至2017年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	130,438,239円
受 取 利 息	130,483,511
支 払 利 息	△45,272
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	253,738,886
売 買 益	355,137,814
売 買 損	△101,398,928
(C) 信 託 報 酬 等	△3,042,322
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	381,134,803
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△85,987,107
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,073,167
(G) 解 約 差 損 益 金	△32,958,787
(H) 計 (D+E+F+G)	265,262,076
次 期 繰 越 損 益 金(H)	265,262,076

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	3,418,672,658円
期中追加設定元本額	58,460,214円
期中一部解約元本額	742,697,503円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	2,095,255,992円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	639,179,377円
期末元本額合計	2,734,435,369円

■お知らせ

該当事項はありません。

**モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド ー第9期ー**  
**決算日 2017年8月15日／計算期間 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)**

当ファンドの仕組みは次の通りです。

<b>運用方針</b>	主として、新興国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
<b>主要運用対象</b>	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
<b>組入制限</b>	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限りません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)

**基準価額の主な変動要因**

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得出来たことに加えて、為替市場において新興国通貨が平均的に対日本円で堅調に推移したため、基準価額は上昇し、期首に9,554円でスタートした基準価額は期末には10,940円となりました。

**投資環境**

一部の国における政治情勢の不透明感や、米国のトランプ政権が掲げる保護貿易主義的な政策の影響が懸念されたことで、一部の高金利通貨が軟調な推移となる局面がありました。しかし、トランプ政権の政策に対する過度な懸念が後退したことや、景気や物価など新興国の経済ファンダメンタルズが総じて安定化しつつあること、相対的に高いキャリーを求める投資家の資金が流入したことを背景に、高金利通貨市場は総じて堅調に推移しました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

**ポートフォリオ**

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な新興国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては新興国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、新興国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

### (1) 市場環境について

米国経済は緩やかな景気の拡大が続くと期待され、世界的にも景気が安定化していると考えています。金融政策に関しては、米国において緩やかなペースでの追加利上げが想定されるものの、インフレへの懸念が低いことから、世界的に緩和的な金融政策の継続が見込まれます。日本や欧州の債券市場を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨市場に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、中長期的には相対的に高い経済成長が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。また、一部の国においては構造改革の進展や、経常収支などのファンダメンタルズの改善が確認出来ることもポジティブな要因として考えられます。

### (2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入れ債券においては、各国の国債へ投資を行いつつインカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指し、各国の金融政策動向を分析することでキャピタル・ゲインからの収益獲得も目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2016年 8月15日	円		%	%	%
	9,554	—		97.5	—
8月末	9,470	△0.9		97.6	—
9月末	9,349	△2.1		97.1	—
10月末	9,776	2.3		97.3	—
11月末	9,928	3.9		96.4	—
12月末	10,486	9.8		96.7	—
2017年 1月末	10,308	7.9		97.6	—
2月末	10,568	10.6		98.2	—
3月末	10,612	11.1		97.2	—
4月末	10,600	10.9		96.3	—
5月末	10,650	11.5		96.5	—
6月末	10,939	14.5		96.7	—
7月末	11,009	15.2		97.9	—
(期 末) 2017年 8月15日	10,940	14.5		98.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2016年8月16日～2017年8月15日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	12円 (9)	0.118% (0.092)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(3)	(0.027)	
合計	12	0.118	

当期中の平均基準価額は、10,307円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メ キ シ コ	国 債 証 券	千メキシコペソ 35,420	千メキシコペソ 50,575
	ブ ラ ジ ル	国 債 証 券	千ブラジルリアル 13,001	千ブラジルリアル 18,122
	ト ル コ	国 債 証 券	千トルコリラ 18,258	千トルコリラ 842 (16,458)
	イ ン ド ネ シ ア	国 債 証 券	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア 7,955,393
国	南 ア フ リ カ	国 債 証 券	千南アフリカランド 24,145	千南アフリカランド 11,746 (29,733)

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2016年8月16日から2017年8月15日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2017年8月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国 (外貨建) 公社債

区 分	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	未		
		評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 97,707	千メキシコペソ 100,194	千円 621,203	% 20.3	% —	% —	% 7.2	% 13.0
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 17,114	千ブラジルレアル 17,536	605,725	19.8	19.8	—	—	19.8
ト ル コ	千トルコリラ 19,477	千トルコリラ 18,154	567,505	18.5	—	—	18.5	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 75,891,000	千インドネシアルピア 75,644,354	627,848	20.5	—	—	—	20.5
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 70,300	千南アフリカランド 70,669	585,851	19.1	—	—	—	19.1
合 計	—	—	3,008,134	98.2	19.8	—	25.8	72.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国 (外貨建) 公社債

銘 柄	種 類	利 率	額 面 金 額	当 期		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
MEXICO	国債証券	8.5	63,155	64,467	399,695	2018/12/13
MEXICO		8.0	34,552	35,727	221,507	2020/6/11
小 計					621,203	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
BRAZIL	国債証券	10.0	17,114	17,536	605,725	2019/1/1
小 計					605,725	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
TURKEY	国債証券	10.5	2,677	2,647	82,775	2020/1/15
TURKEY		7.4	16,800	15,506	484,730	2020/2/5
小 計					567,505	
(インドネシア)			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
INDONESIA	国債証券	5.25	75,891,000	75,644,354	627,848	2018/5/15
小 計					627,848	
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
SOUTH AFRICA	国債証券	8.25	39,600	39,620	328,451	2017/9/15
SOUTH AFRICA		8.0	30,700	31,049	257,400	2018/12/21
小 計					585,851	
合 計					3,008,134	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2017年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	3,008,134	97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	89,870	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	3,098,004	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (3,061,481千円) の投資信託財産総額 (3,098,004千円) に対する比率は98.8%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.21円、1メキシコペソ=6.20円、1ブラジルリアル=34.54円、1トルコリラ=31.26円、100インドネシアルピア=0.83円、1南アフリカランド=8.29円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,098,004,715円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	52,102,199
公 社 債(評価額)	3,008,134,227
未 収 利 息	37,768,289
(B) 負 債	34,525,379
未 払 解 約 金	34,525,290
未 払 利 息	89
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,063,479,336
元 本	2,800,367,340
次 期 繰 越 損 益 金	263,111,996
(D) 受 益 権 総 口 数	2,800,367,340口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,940円

■損益の状況

当期 (自2016年8月16日 至2017年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	251,515,627円
受 取 利 息	251,521,698
支 払 利 息	△6,071
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	188,677,465
売 買 益	292,148,117
売 買 損	△103,470,652
(C) 信 託 報 酬 等	△3,795,650
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	436,397,442
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△155,915,338
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,370,584
(G) 解 約 差 損 益 金	△19,740,692
(H) 計 (D+E+F+G)	263,111,996
次 期 繰 越 損 益 金(H)	263,111,996

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	3,497,120,141円
期中追加設定元本額	59,162,797円
期中一部解約元本額	755,915,598円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	2,193,408,175円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	606,959,165円
期末元本額合計	2,800,367,340円

■お知らせ

該当事項はありません。